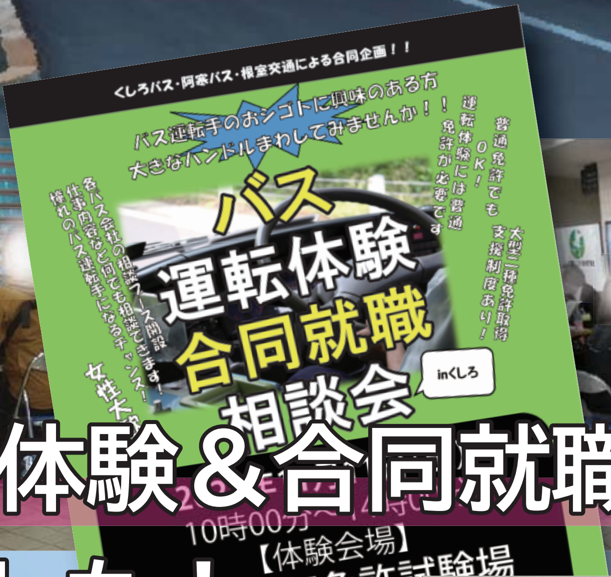
北海道運輸局 @mlit_hokkaido より転載



くしろバス・阿寒バス・根室交通による合同企画！！

バス運転手のおシゴトに興味のある方
大きなハンドルまわしてみませんか！！

バス
運転体験
合同就職
相談会
inくしろ

普通免許でもOK！
運転体験には普通免許が必要です
大型二種免許取得支援制度あり！

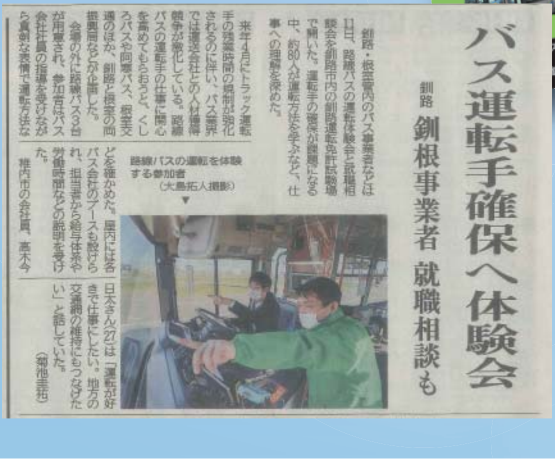
各バス会社の相談ブース開設
仕事内容など何でも相談できます！
憧れのバス運転手になるチャンス！

10時00分～
【体験会場】
釧路運転免許試験場
釧路市大楽毛北1丁目1

株式会社、阿寒バス株式会社、根室交通株式
北海道釧路総合振興局、北海道根室
釧路・根室管内市町村、北海道警察釧路方面本

北海道運輸局 @mlit_hokkaido より転載

バス運転体験＆合同就職相談会を開催しました！



バス運転手確保へ体験会

釧路　釧根事業者　就職相談も

釧路・根室管内のバス事業者などは11日、路線バスの運転体験会と就職相談会を釧路市内の釧路運転免許試験場で開いた。運転手の確保が課題になる中、約80人が運転方法を学ぶなど、仕事への理解を深めた。

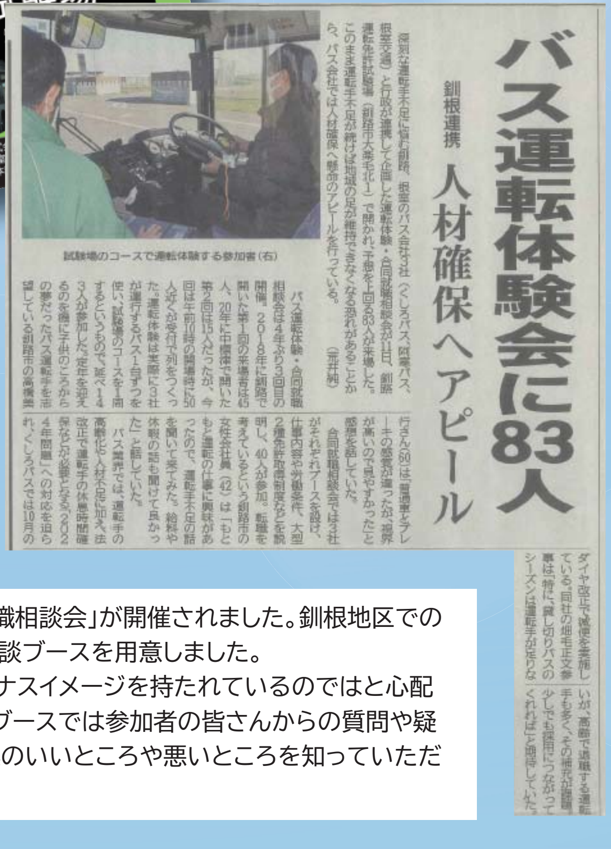
来年4月にトラック運転手の残業時間の規制が強化されるのに伴い、バス業界では運送会社との人材獲得競争が激化している。路線バスの運転手の仕事に関心を高めてもらおうと、くしろバスや阿寒バス、根室交通のほか、釧路と根室の両振興局などが企画した。

会場の外に路線バス3台が用意され、参加者はバス会社社員の指導を受けながら真剣な表情で運転方法などを確かめた。屋内には各バス会社のブースも設けられ、担当者から給与体系や労働時間などの説明を受けた。

稚内市の会社員、高木今日太さん(27)は「運転が好きで仕事にしたい。地方の交通網の維持にもつなげたい」と話していた。（菊池圭祐）

路線バスの運転を体験する参加者
（大島拓人撮影）▼

右：釧路新聞　令和5年11月12日
左：北海道新聞　令和5年11月12日



バス運転体験会に83人

釧根連携　人材確保へアピール

深刻な運転手不足に悩む釧路、根室のバス会社3社（くしろバス、阿寒バス、根室交通）と行政が連携して企画した運転体験・合同就職相談会が11日、釧路運転免許試験場（釧路市大楽毛北1）で開かれ、予想を上回る83人が来場した。このまま運転手不足が続けば地域の足が維持できなくなる恐れがあることから、バス会社では人材確保へ懸命のアピールを行っている。（荒井純）

試験場のコースで運転体験する参加者（右）

バス運転体験・合同就職相談会は4年ぶり3回目の開催。2018年に釧路で開いた第1回の来場者は45人、20年に中標津で開いた第2回は15人だったが、今回は午前10時の開場時に50人近くが受付で列をつくった。運転体験は実際に3社が運行するバス1台ずつを使い、試験場のコースを1周するというもので、延べ143人が参加した。定年を迎えるのを機に子供のころからの夢だったバス運転手を志望している釧路市の高橋美行さん(60)は「普通車とブレーキの感覚が違ったが、視界が高いので見やすかった」と感想を話していた。

合同就職相談会では3社がそれぞれブースを設け、仕事内容や労働条件、大型2種免許取得制度などを説明し、40人が参加。転職を考えているという釧路市の女性会社員（42）は「もともと運転の仕事に興味があったので、運転手不足の話を聞いて来てみた。給料や休暇の話も聞けて良かった」と話していた。

バス業界では、運転手の高齢化や人材不足に加え、法改正で運転手の休憩時間確保などが必要となる「2024年問題」への対応を迫られ、くしろバスでは10月のダイヤ改正で減便を実施している。同社の畑毛正文参事は「特に、貸し切りバスのシーズンは運転手が足りないが、高齢で退職する運転手も多く、その補充が課題。少しでも採用につながってくれれば」と期待していた。

2023年11月11日（土）、釧路運転免許試験場にて「バス運転体験合同就職相談会」が開催されました。釧根地区での開催は今回が3回目。くしろバス、阿寒バス、根室交通がバスを持ち込み、相談ブースを用意しました。

連日バスの減便や運転手不足が報じられており、バス業界全体にややマイナスイメージを持たれているのではと心配していましたが、予想に反して大勢の方にお越しいただきました。就職相談ブースでは参加者の皆さんからの質問や疑問に対してバス会社の担当者がマンツーマンで説明。バス運転手という職業のいいところや悪いところを知っていただけるよい機会となりました。